産業人クラブだより ―かけはし―

産業人烈伝

話が違う〝三つの条件〟

マテリアル・細貝淳一社長 ㊤

マテリアルはアルミニウムの販売、加工、機械加工を手がける企業で、私が26歳の時に、会社勤めをやめて立ち上げた。2012年7月に創業20年を迎えたが、振り返れば、あっという間の20年だった。

設立時期は日本経済が80年代の好景気から一転、バブルが弾けて長期低迷に入り込んだ時期と重なった。「本当はバブルの時に会社を立ち上げたかった。周囲を見れば、どこもかしこももうかっている。今がチャンスだと思ったが、勤務先の社長が独立を認めてくれなかった」。

18歳の時、東京都大田区内にあるアルミ卸問屋に初めて正社員として入社した。アルバイト先のガソリンスタンドで知り合ったその社長から、「君、人あたりがいいね。うちに来て営業をやらないか。正社員で採用するし、希望すれば定時制高校にも行かせてあげるよ」と言われたことがきっかけ。入社を決めた。

その会社は金属材料を仕入れ、顧客の求める寸法に切断し販売していた。バブルの勢いも手伝い、急速に売り上げを伸ばしていた。私は社長の誘いに乗ったが、当初から、2、3年で独立しようと考えていた。

入社後、私は必死に働き、そこでマテリアルのビジネスモデルの基礎となる経験と人脈を築き、独立資金を稼いだ。好景気を追い風に、いざ独立しようと社長に相談すると、答えは「まだ早い」。社長には後継者の息子がいたが、学生で若く一人前になるまで待ってほしい、と頼まれた。仕方なく諦めたが、一転バブル崩壊で業績が悪化し、私は突然その会社から放出されてしまった。

景気は悪かったが、早く独立して加工の仕事がやりたかった。早速、資本金300万円でマテリアルを設立した。ところが、退職時に社長は私に三つの条件を突き付けた。「退社したことを取引先などに一切話さないこと」「材料は他社から購入してはいけない。うちから購入すること」「販売価格はうちよりも10％高くする」―。

あまりの理不尽な要求に、話が違うと慌てた。「これはヤバイ」。私は家に帰ると天井を見上げ、一人途方に暮れた。

（全3回）

（東京都大田区南六郷3の22の11）

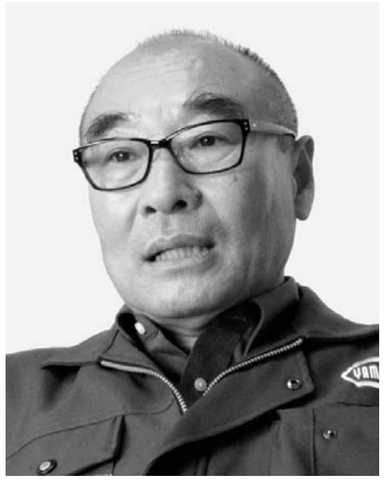
会社創業時の細貝社長

トップインタビュー

海外進出、客観的な判断必要

現地情勢把握　決めたら腹くくれ

大和ケミカル社長（神奈川産業人クラブ理事）　中村　幹夫氏



工業向けゴムやプラスチック製品の製造を手がける大和ケミカル（神奈川県厚木市、046・245・3871）は、2013年に創立40年を迎える。地元の中小企業に先駆けて、99年にタイに進出。05年には同国に第2工場を稼働させた。海外展開のポイントや、世代交代について中村幹夫社長に聞いた。（横浜・大楽和範）

◇

―進出前は海外進出に否定的だったそうですね。

「当時、実は『東南アジアなんて冗談じゃない。日本で勝負する』と周囲に公言していた。日本人の勤勉さや技術力の高さを誇りに思っていたがゆえの発言だが、ある先輩から『今後ボーダーレスの国際競争が始まって、井の中の蛙になるぞ』と言われ、半ば強引に連れて行かれた。そこで『今まで海外に行って何を見ていたのだろう』と目からうろこが落ちるほどのショックを受け、その場で進出を決めた」

―海外進出を考える中小企業へアドバイスを。

「当社の工場は内陸側にあるので、11年のタイ大洪水では幸いにも被災しなかった。本当に運が良かっただけだが、運でうまく行くほど海外進出は甘くない。まずは、現地に行って納得いくまで勉強し、進出を決めたら腹をくくること。私は工場設立後の5年間、毎月タイに出かけた」

「客観的に判断することも大事だ。昨今、ミャンマーが『アセアン最後の投資国』などと注目されているが、そういう風潮に踊らされないこと。私は、ミャンマーは人件費や法制度の未整備などで、東南アジア各国と比べてうま味のある国ではないと判断している」

―40年にわたり会社を率いてきましたが、バトンタッチの時期は。

「6月が決算月だが、来期から長男の専務（英寛氏）に社長職を譲るつもりだ。2年ほど前から営業を任せていて、本人も自覚が芽生えてきている。国内とタイの2工場の現場管理は、現在タイ第2工場の副社長（MD）を務める二男（健二氏）にやってもらう」

―社長自身の今後は。

「地域の経済団体活動に精を出したい。厚木商工会議所の副会頭や県央経営者会の副会長を務めているが、工業系の会員企業数が極端に少ない。会員数が少なければ活動自体も地味なものになってしまう。現在、広く活動を知しってもらい、会員同士が連携できるような策を練っている。とにかく地元企業を元気にし、地域の活性化につなげたい」

なかむら・みきお　66年（昭41）高知県立高知東工業高校卒業後、神奈川県内の自動車部品製造会社に就職。72年大和ケミカルを創業、73年に法人化し社長。高知県出身、65歳。

小さくても本物

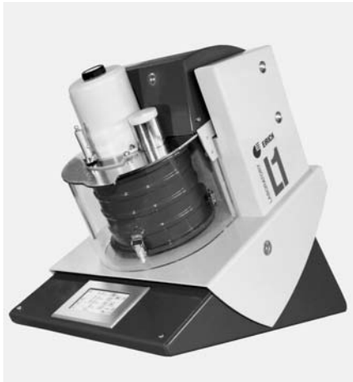
千葉　日本アイリッヒ　小型産業ミキサー好評

日本アイリッヒ（千葉県成田市、ステファン・アイリッヒ社長、0476・73・5251）の産業ミキサー「ＥＬ１＝写真」が注目されている。2012年に寄せられた引き合いは約10件。前年比２割増で、10年の発売以降、年々件数が増加しているという。

ＥＬ１の特徴は、有効容量が１㍑と小型で、価格も約200万円と手頃なこと。加えて、材料を混ぜるローターの回転方向の変更や、容器の傾きを水平―30度の間で設定が可能。容器の材質を混合する材料によってステンレス製やウレタン製などを選べる。対応する電圧が広く、混合時間などのデータを「エクセル」で保存できる。

同社は従来、大型の産業用混合機が主力。機械は主に、鉱山での選鉱や粉体の大量生産などに用いられてきた。同社初の小型機であるＥＬ１は、粉体を混ぜて新材料の開発試験に取り組む研究室や、貴金属など高価で大量に混ぜるのが難しい粉体を扱う企業などからの注目が多いという。「（市場投入で）顧客の幅が広がった」と営業担当の鈴木忠典氏は実感している。

装置納入に先立ち、必ず少量の混合試験を実施する。大量処理型混合機導入の足がかりをつくるのもＥＬ１の役目。「他品種販売増大の突破口として、拡販に注力していく」と鈴木氏は意気込む。



トピックス

東京　アルタン　〝ノロ〟対策用製剤拡販

アルタン（東京都大田区、鈴木賢一社長、03・3743・5705）は、業務用のアルコール製剤など衛生関連製品のプロフェッショナル。今、販売に力を入れているのが、ノロウイルス対策に力を発揮するエタノール製剤・食品添加物「アルタンノロエース」だ。今年は例年以上にノロウイルスが猛威を振るっており、注文に生産が追い付かない状況だ。

ノロウイルスは耐薬品性が高く、通常のアルコール消毒だけの対策では十分ではないとされる。11月から３月の感染が多く、すでに国内各地で集団感染が発生している。　同製剤は広島大学と共同開発した。ノロウイルスの増殖を妨げる効果のある柿渋成分を配合。2007年の発売以来、変色を防ぐための酸化防止対策など改良を重ねてきた。商品の認知度が高まっていることもあり、足元の出荷は昨年の２倍のペースになっている。

手荒れや変色の原因となる次亜塩素酸ナトリウムやポピドン・ヨードと異なり、食品添加物であるため「非常に安全性が高い」（鈴木社長）のも特徴。昨年、国内特許を取得し、製品への信頼度を高めた。

今後、東南アジアの新興国などでもノロウイルス対策の需要が拡大することが見込まれる。このため、海外展開も視野に取り組んでいく方針だ。

ノロウイルス対策に力を発揮する「アルタンノロエース」

1―2月の予定

【1　月】

◇**16日（水）埼玉産業人クラブ・ＮＩＴＥＣ埼玉産学交流会**「2013年　新春賀詞交歓会」（さいたま市浦和区、浦和ロイヤルパインズホテル）

◇**16日（水）日本産業人クラブ連合会、東京産業人クラブ、日刊工業新聞社共催**「新春経済講演会・賀詞交歓会」（東京都千代田区、ホテルグランドパレス）

◇**16日（水）神奈川産業人クラブ**「合同新年祈祷会」（神奈川県鎌倉市、鶴岡八幡宮）

◇**17日（木）新潟産業人クラブ**「新年会・新春落語会」落語：三流亭楽々〈社会人落語日本一決定戦最優秀名人〉（新潟市中央区、新潟グランドホテル）

◇**22日（火）東京産業人クラブ・東京産学交流会**（サザンクロス）「賀詞交歓会と新春講演会」講師：大林組主席技師・石川洋二氏、演題「宇宙エレベーター建設構想」（東京都大田区、三井ガーデンホテル蒲田）

◇**22日（火）大阪産業人クラブ**「新春互礼会」、「第14回ＣＶＧ大阪の表彰式・発表会／講演会」（大阪市北区、ＡＮＡクラウンプラザホテル大阪）

◇**23日（水）いわき産業人クラブ**「2013年新春講演会・合同新年会」講師：とうほう地域総合研究所事務局長・若狭新一郎氏、演題「最近の経済情勢から」（福島県いわき市、パレスいわや）

◇**25日（金）中国四国産業人クラブ**「春の交流会・ＣＶＧ中国祝賀会」（広島市中区、リーガロイヤルホテル広島）

◇**30日（水）神奈川産業人クラブ**「賀詞交歓会・講演会」（横浜市西区、横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズ）

◇**31日（木）掛川産業人クラブ**「愛知県産業視察会」本多プラス（愛知県新城市）見学

◇**31日（木）名古屋産業人クラブ**「新年賀詞交歓会＆新春経済講演会」（名古屋市中村区、名古屋マリオットアソシアホテル）

【2　月】

◇**1日（金）千葉産業人クラブ**「新春経済講演会・賀詞交歓会」講師・千葉銀行頭取・佐久間英利氏（千葉市中央区、三井ガーデンホテル千葉）

◇**4日（月）栃木産業人クラブ**「2013年賀詞交歓会」（宇都宮市、ホテル東日本宇都宮）

◇**5日（火）宮城産業人クラブ**「2013年新春講演会・交流会」講師：東北経済産業局長・山田尚義氏、演題「東北地域の現状と今後の発展の方向性について（仮題）」（仙台市青葉区、ホテルメトロポリタン仙台）

◇**5日（火）宮城・山形・福島・いわきの各産業人クラブ**「キャンパスベンチャーグランプリ東北表彰式・記念パーティー」（仙台市青葉区、ホテルメトロポリタン仙台）

◇**5日（火）茨城産業人クラブ**「経済講演会・賀詞交歓会」講師：常陽銀行頭取・寺門一義氏、演題「常陽銀行の事業戦略と人材育成」（水戸市、水戸京成ホテル）

◇**5日（火）九州・山口産業人クラブ**「新春交歓会」（福岡市博多区、ホテルオークラ福岡）

◇**6日（水）群馬産業人クラブ**「賀詞交歓会」（前橋市日吉町、前橋商工会議所会館）

◇**7日（木）長野産業人クラブ**「新春講演会」（長野市県町、ホテル国際21）

◇**8日（金）埼玉産業人クラブ**「2013年新春賀詞交歓会」、新春経済講演会：講師東京大学教授・石川正俊氏（さいたま市中央区、ラフレさいたま）

◇**13日（水）埼玉産業人クラブ**「分科会」（さいたま市浦和区、日刊工業新聞社さいたま総局会議室）

◇**14日（木）埼玉産業人クラブ・ＴＤＵ産学交流会**「つくば方面への施設見学」（茨城県つくば市、サイバーダインスタジオ、筑波宇宙センター）

◇**15日（金）山形産業人クラブ**「新春講演会と新年例会」（山形県上山市、日本の宿「古窯」）

◇**19日（火）新潟産業人クラブ**「社長会・講演会」講師：自衛隊新潟地方協力本部長１等陸佐・吉田賢一郎氏、演題「東日本大震災から学ぶ自衛隊の組織力とリーダーシップ」（新潟市中央区、ＮＥＸＴ21・新潟ＩＰＣ財団ビジネス支援センター）

◇**20日（水）―26日（火）埼玉産業人クラブ**「海外視察」（ミャンマー＆タイ産業視察）

◇**21日（木）岐阜産業人クラブ**「新春経済講演会＆懇親会」（岐阜市、岐阜グランドホテル）

◇**26日（火）大阪産業人クラブ**　セミナー「提案型設計のポイント」講師：ＮＰＯ産業人ＯＢネット　アドバイザー・村尾邦明氏

ごあいさつ

日本産業人クラブ連合会会長（日刊工業新聞社社長）　井水　治博

新たな飛躍を

昨年末には新政権発足によりデフレ脱却と経済再生に向けた取り組みが動き出し、株価上昇や円高是正など効果が表れました。ただ、少子高齢化に伴い国内経済の大きな伸びは見込めず、グローバル競争は一層激化するなど、産業界を取り巻く環境の変化は止まりません。長年にわたり産業界を覆う閉塞（へいそく）感を打ち破るには、新たな成長を目指してイノベーション（技術革新）を起こすことが求められています。

成長への意欲を高め、ヒントをつかみ、連携を促進する場として産業人クラブの意義はますます高まります。今年も各地の産業人クラブの活動を充実させ、交流を活発にすることで、新たな飛躍へと踏み出そうとする産業人の皆さまを支援させていただきます。

産業人クラブの活動への積極的なご参加をお待ちしております。

2013年の年頭にあたり、ひと言ごあいさつを申し上げます。

バイオエネの現状・課題で講演

埼玉産業人クラブ・ＴＤＵ産学交流会

埼玉産業人クラブ・ＴＤＵ産学交流会（佐藤達雄会長＝アーベルソフト会長）は2012年12月3日、埼玉県川越市の川越プリンスホテルで講演会・忘年会を開いた。会員企業、大学などから25人が参加。椎葉究東京電機大学（ＴＤＵ）理工学部生命理工学系教授による「バイオエネルギーの現状と課題」の講演（写真）を聞いた後、忘年会で盛り上がった。

佐藤会長は、民主党政権の3年間を振り返りながら「新政権には円安誘導と、大がかりな公共投資による景気刺激策を期待したい」とあいさつ。椎葉教授は講演で、バイオ燃料のエネルギーとしての可能性を解説。穀類を用いたバイオ燃料の普及が穀物価格の高騰につながっている問題点を指摘する一方、「藻類による燃料生成は生産性に課題があったが、オーランチオキトリウムのような新種の発見により、可能性が広がっている」などと今後への期待を語った。

忘年会では、加藤康太郎ＴＤＵ理事長が「本学は今年、東京千住キャンパスを新設したが、最近さまざまな媒体から就職に有利な大学として高く評価されており、大変励みになっている」などとあいさつ。中締めを担当した日本伸管の細沼哲夫会長は、新政権による追加経済対策への期待や自らの健康談議を交え、力強く会を締めくくった。

100年企業講演会を開催

城北産業人クラブ

城北産業人クラブ（檜垣昌子会長＝山陽プレス工業社長）は2012年12月7日、東京都豊島区の東京芸術劇場で100年企業講演会を開いた（写真）。7人が参加し、祭り用品を扱う「浅草中屋」の屋号で有名な中川（東京都台東区）の中川雅雄社長による「100年企業の交友録―東京の老舗企業の共通項を考える」と題した講演に耳を傾けた。中川氏は1910年創業の同社の家訓の一つである「小売業は情報産業」を紹介。コンピューターで購入履歴を管理して生産管理だけでなく顧客に追加注文を提案したりするなどの取り組みを紹介し、「ＩＴ技術と宅配がなかったらこのビジネスはできなかった」と話した。

老舗企業のメセナ（文化芸術活動の支援）に関する話題では、同社が年4回、ポッドキャストで音声配信している番組「江戸東京人セミナー」に触れた。

毎回、老舗企業の経営者が登場して30分―1時間、自らの思いを話す番組を制作し、低予算ながら一回当たり3000―4000のアクセス・ダウンロードがあることなどを披露した。「番組を通じて、老舗経営者と親しくなれた。この番組で老舗ブームが起きたと自負している」と締めくくった。

親睦ゴルフ大会

神奈川産業人クラブ

神奈川産業人クラブ（天田満明会長＝アマダ相談役）は2012年12月7日、神奈川県藤沢市の湘南カントリークラブで「第25回神奈川産業人クラブ親睦ゴルフ大会」を開いた。10人が参加し、大和ケミカル（神奈川県厚木市）の中村幹夫社長が、ネット72・8（グロス98）で優勝した（写真右）。中村社長は「大変楽しいゴルフだった。優勝したからには、来年も参加しなければ」と終始笑顔だった。

2位は藤栄電機工業（横浜市緑区）の斎藤武夫元社長、3位は日本耐熱線工業（川崎市中原区）の石塚六十史専務。参加者は「グリーンが速い」「パターが全然入らなかった」など、特にグリーンの乗せてからの難しさを口にしていた。

懇親会では参加者それぞれがプレー状況や近況を報告。「（準優勝で上位常連の）斎藤さんには一回勝ちたいと思っている」「息子さんにはついていくのが大変だが、おやじさんだったら負けない」など、ゴルフ大会にかける意気込みを思い思いに語った。

日本機械学会栃木ブロックと交流会

栃木産業人クラブ

栃木産業人クラブ（高橋和夫会長＝大高商事社長）は2012年12月11日、宇都宮市のホテル東日本宇都宮で日本機械学会栃木ブロックとの交流会を開いた。約35人が参加した。13年度冬に打ち上げられるＨ２Ａロケットに相乗りする小型人工衛星「ＴｅｉｋｙｏＳａｔ―３」について、宇都宮市内にキャンパスを置く帝京大学理工学部航空宇宙工学科の久保田弘敏教授が講演した（写真）。

帝京大では久保田教授が実施責任者を務め、学生らで組織するサークル「宇宙システム研究会」などがＴｅｉｋｙｏＳａｔ―３を製作している。久保田教授は模型を使いながら相乗り小型副衛星の概要や開発状況、システムなどについて説明した。「衛星プロジェクトを通じて、学生の目がチワワのようなかわいい目からオオカミの眼に変わることを期待している」と人材育成の効果も強調した。

同プロジェクトは県内の宇宙開発関連の団体や活動とも連携している。久保田教授の「栃木県では航空産業は定着しているが、宇宙産業も成り立つ可能性がある。そのためにも打ち上げをぜひ成功させたい」との言葉に、参加者はうなずいていた。

若手経営者ら合同交流会

首都圏産業人クラブ

東京、埼玉、千葉、茨城の各産業人クラブは2012年12月5日、東京都台東区の伊豆栄梅川亭で「首都圏産業人クラブ合同若手・地域間交流会」を開催した（写真）。各産業人クラブに加盟している企業の若手経営者ら19人が参加した。

冒頭、千葉産業人クラブに加盟するバインド・ギアコーポレーション（千葉県松戸市）の熊谷純一社長があいさつし、「県の垣根を越えての交流はあまりないので、この会を機に活発化させ、今後の企業経営に生かしていってほしい」と呼びかけた。

会では参加者同士が、各企業の経営状況や各都県の経済環境などについて意見を交換。さらに、伊豆栄梅川亭のうな重に舌鼓を打った。

宝人として会員を継続

東京産業人クラブのナイスクラブ

東京産業人クラブ会員のナイスクラブ（東京都千代田区、亀田敦子社長、03・3238・0053）は、亀田氏が社長を務める宝人（たからびと）（同）に15日付で吸収合併される。今後は、宝人として会員を継続する。宝人は2011年に健康食品の販売などを目的として設立された。「ナイスクラブ」は通称名として残す。

新入会員

千葉産業人クラブ

▽**内藤　雅元氏**　日本アイリッヒ専務（千葉県成田市吉岡121　0476・73・5251、産業機械の製造・販売）

▽**永井　元章氏**　日輪社長（東京都中央区湊3の11の6、03・3552・1818、運送業および経営・営業事務の受託）